

平成 19 年 12 月 11 日

各 位

株式会社 I H I
代表取締役社長 釜 和明
(コード番号： 7013)
問合せ先：広報室長
竹園 良雄
(電話：03-6204-7030)

業績予想の修正および過年度訂正に関する調査状況について

当社は、平成 19 年 9 月 28 日付け当社開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」および「過年度決算発表訂正の可能性に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社の過年度決算発表に関する訂正金額に関しましては、現在、社内調査委員会と社外調査委員会をそれぞれ設置し、鋭意調査を進めており、また会計監査人による監査も受けているところです。

これまでの社内調査で以下の点が明らかになりました。

- ① 平成 19 年 9 月 28 日に、業績予想の修正における通期営業損失の修正幅 570 億円に、最大で 280 億円の損失が加わる可能性がある旨開示いたしました。この総額約 850 億円に変更はありません。
- ② 過年度決算訂正の可能性につきましては、
 - ア. 最大で 280 億円の損失につきましては、過年度決算訂正の可能性を開示しておりましたが、この内約 180 億円を平成 19 年 3 月期決算の訂正とし、残りの約 100 億円は平成 20 年 3 月期決算にて認識することが妥当と判断しました。
 - イ. 一方、適時性の観点から慎重に調査した結果、上記①の 570 億円の損失の内約 120 億円については、平成 19 年 3 月期に認識することが妥当と判断しました。
 - ウ. その結果、上記アの約 180 億円に、上記イの約 120 億円を合計した約 300 億円が、平成 19 年 3 月期の営業損益の訂正額となる見込みです。なお、そのうち約 90 億円については平成 18 年 9 月期に損失を計上する見込みです。平成 19 年 3 月期ならびに平成 18 年 9 月期について、営業利益、経常利益、税引前利益についてそれぞれ同様の訂正を行う予定です。
- ③ 平成 20 年 3 月期の業績予想につきましては、
 - ・ 上記②アにより、約 100 億円損失が増える一方、
 - ・ 上記②イにより、約 120 億円の損失が減額する見通しであるため、
 - ・ 全体では前回予想より約 20 億円改善する見通しです。

以上の結果、平成 20 年 3 月期通期営業損失は約 150 億円になる見通しです。

上記金額については、精査の部分を残しており、確定次第、速やかに開示いたします。

これに併せて、平成 19 年 3 月期にかかる訂正有価証券報告書および訂正半期報告書についても会計監査人の監査を経て提出いたします。

なお本日の一部報道におきまして、「2007 年 3 月期に 200 億円を越す追加損失を計上する」旨の報道がなされましたが、当社として正式に発表したものではありません。

以 上